

平成28年 1月 6日

登別市水道事業  
登別市長 小笠原春一様

登別市水道ビジョン検討委員会  
委員長 片石温美

「登別市水道事業ビジョン」の提言について

この度、登別市水道事業ビジョン検討委員会において、登別市水道事業が抱える人口減少による水需要の低迷や水道施設の老朽化などが主要な課題として抽出されてきました。そのため、登別市水道事業が安全で安心な水の供給を安定的に行うための施設水準の向上や健全な事業運営が図れるように、現状と将来の分析・評価し、その課題を解決する方向性について意見を出し合い協議を重ねてまいりました。

その結果、水道事業の目指すべき基本理念と理想像を描き、その実現に向けて事業を着実に進めていくための方策等を「安全」「強靱」「持続」の3つの観点から整理し、「登別市水道事業ビジョン」の検討委員会として取りまとめましたので、別紙のとおり提言いたします。

つきましては、本提言を尊重され、水道事業の着実な実施に取り組まれることを期待いたします。

登別市水道ビジョン検討委員会

委員長	片石	温美
副委員長	俵藤	玄久生
委員	磯松	豊貴
〃	大坂	倫一
〃	加藤	政利
〃	斎藤	正史
〃	藤枝	瑠衣子
〃	八重樫	一男

# 提 言 書

暮らしを守り、信頼される水道供給を目指して  
～ 登別の未来へつなぐ安全な水道 ～

登別市水道事業の現状や地域特性等を踏まえ、将来の事業環境が変化しても、様々な課題を解決するために設定した基本目標を達成するために、登別市水道ビジョン検討委員会は、「安全」「強靱」「持続」の3つの観点から、特に重要な取り組みとして以下のとおり提言する。

## 1. 安全

登別市の両浄水場は、建設後約50年が経過しており、建設時点の原水水質により設計・施工されているが、これまでの原水水質の変動にも適切な運転管理と、定期的な水質検査等によって清浄な水の供給が確保されてきている。しかしながら、日々供給している水の安全性を一層高いレベルで確保するためには、水質検査以外の措置を講ずる必要があるため、「水安全計画」を策定し、水源から給水栓に至る全ての段階において包括的な危害の評価や管理を行い、安全な飲料水を常時、供給されたい。

また、水源の保全の取り組みについて北海道が制定した条例により保全地域として指定されているが、水源に影響を及ぼさないよう適正な土地利用の確保を図るべく、各種関係機関との連絡体制を構築するなどの取り組みを対応されたい。

## 2. 強靱

主要となる浄水施設は老朽化が著しく、建設年度から判断すると現行の耐震性が確保されているとは言い難く、また、幹線となる配水管は、耐震管の使用が少ないため、地震時等の災害には、被災の可能性が高く、安定給水の面が懸念されることから、「水道施設耐震化計画」を策定し、アセットマネジメント活用した施設整備を図られたい。

また、災害等により被災した場合の応急給水や応急活動を円滑に実施できるよう災害マニュアルの拡充を図り、市民に対する情報提供や共同訓練などを行い、災害時における応急給水が確実に実行されるような構築を図られたい。

## 3. 持続

今後、登別市水道事業として安定した給水を持続していくためには、耐震化やダウンサイジングを考慮した計画的な施設整備を行っていくことが必要であるが、水需要の低迷による経営状況の改善が最も重要であると考えられる。このため、水道料金の最適化に関する検討に力を入れ、アセットマネジメントの導入及びその着実な実践など長期的な視点で取り組みを図られたい。

また、事業運営の効率化を図るため、近隣水道事業者との広域化への取組みを検討し、さらに、水道サービスの確保や技術レベルの向上など図れるよう、民間企業の技術力を活用する方法として民間活用の可能性を検討されたい。

そして、水道事業の運営全般に関しては、市民への積極的な情報提供を図り、理解・協力を得るよう努められたい。

#### 4. 「登別市水道事業ビジョン」を実効性のあるものに

平成26年6月から始まった5回にわたる委員会での協議を終え、このたび「登別市水道事業ビジョン」の策定とその具体的な推進に向け、「安全」「強靱」「持続」の3つの観点から、特に重要な取組みを提言させて頂きました。

7名の委員からは、毎回、約2時間の委員会において、それぞれの立場から熟考を重ねた的確な意見を頂きました。このように真摯に検討を頂いた背景としては、委員会設置当初に登別市の水道施設の視察を行い、給水の要とも言える浄水場の老朽化を目の当たりにし、早期の対策が必要であるにご理解いただいたことに加え、人口減少による水需要の低迷や厳しい水道事業経営という課題に対し、登別市の水道事業を持続可能にするために解決策を考えなければいけないという状況をご認識いただいたことにあると思います。

「登別市水道事業ビジョン」を実効性のあるものにするには、登別市の水道を利用する市民の皆様、水道施設の状況と水道事業が抱える課題についての現状をお知りいただいた上で、持続的な事業運営に対する理解と継続的な協力を頂く必要があります。そのために、様々な方法で市民とのコミュニケーションを図り、登別市の水道事業について正確な情報をお示ししながら一緒に考えていただく場を創出し、市民と行政が連携できる体制をつくることから始めて頂くことを期待しております。